



樹光

大村病院広報誌
じゅこう
2018年10月vol.24

「時代の流れの中で」



大村病院 院長
理事 森村 安史

私が医師になった頃は「精神科病院に入れられたら一生出られない」と当たり前のように言われており、実際には社会的入院と言われ退院先がない患者様が大勢おられました。医師になりたての私は「この患者様はどこが悪くてこんなに長く入院しているのだろうか？」と素朴な疑問を感じていました。その当時は「病院」という名称より「施設」あるいは「療養所」といった表現の方が適切な場所であったかもしれません。

しかしその頃から時代は動き始めていました。長期間にわたって入院させていることに疑問を感じる医師たちも増えて

きました。幻覚や妄想、激しい興奮などの精神症状が改善しているにもかかわらず、なぜ退院できないのだろうか。開放病棟

で自由に買い物に出かけたりしている患者様たちがどうして普通に社会で生活することができないのだろうか。患者様達もまた社会に帰るのを諦めている、あるいは病院で生活をする方が楽だとも考えているようでした。「病院」は病を治して社会に帰っていただく場所です。病院の役割は何だろうということを考え直し、社会に患者様が出て行くためにどのような施設が必要か考え、ようやく退院できない病院から退院させる病院へと変わってきました。社会の目もこの間に変わりました。入院中心から在宅へと医療制度も一八〇度転換したのです。

今でもまだなかなか退院できない患者様もおられます。そこは精神科治療の力が及ばないところです。時代は変わり、社会も変わりましたが、まだ医療が努力していかねばならないことがたくさん残されているのです。

小野市障がい者地域生活・相談支援センターからこんにちは

当センターは、小野市からの委託を受け、障害者総合支援法における相談支援事業を運営しています。

身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい、難病をお持ちの方が地域で安心して暮らすことが出来るよう、ご本人やそのご家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行っています。他にも障害福祉サービスの利用計画の作成、精神障がい者のご家族を対象とした「家族のつどい」の開催、普及啓発のための講演会の開催等を行っています。また昨年設置された「小野市障害者自立支援協議会」の運営にも参加しており、地域の多様なニーズや課題に対応するため社会資源の開発や改善、ネットワークの構築にも取り組んでいます。

当センターには、日々障がい者の方々から日常で困ったことや、どこに問い合わせればよいか分からないこと等の相談も多く寄せられ、それをきっかけとした新たなニーズを把握して支援につながることもあります。今後も身近な地域の相談窓口でありたいと思います。

小野市福祉総合支援センター内 月曜～金曜日 9時～17時 (相談無料)
電話：0794-63-1000(代)

相談支援専門員 石井 ころろ

「老年期うつ」と「認知症」について

私たちは、年を重ねるにつれ「うつ」を多く伴います。今まで出来ていたことが出来なくなり、気分が「ゆううつ」になって十分な睡眠が得られず、何をするのも億劫になります。こうした状態が続けば「老年期うつ病」と診断して、治療を行います。症状の特徴として「頭が痛い・体がしびれる・物忘れがひどい」といった心と身体の不調を強く認めます。治療においては、心身の休養と睡眠、栄養の確保が重要となります。

ご本人は、「動きたくても動けない」事で焦りが生じます。ご家族の対応として「気合がたりない」としかったり、「どこかへ一緒に気分転換に行こう」といった誘いなどはかえってご本人の負担につながります。「良くなったらゆっくり旅行にでも行こうね」と時間を置くと安心感につながります。動きたくても動けないのがうつ病です。

次に深刻な問題点があります。実は認知症の初期にも「うつ」を伴うことが多いのです。この両者の鑑別は非常に困難です。簡単に説明すると、認知症に伴う「うつ」の場合、意欲の低下と無関心さが特徴です。例えば、必要な時はお料理や作業をするけど、暇になると一日ぼーっと過ごしてしまうなどです。

その際にはデイケアなどの社会資源を積極的に活用することが大切です。体を動かすことで、筋力低下の進行や飲み込む力の衰えを予防することができます。

上記のような症状が続いたときは、まず早めに受診するようにしましょう。

医師 岩崎 滋徳



職員紹介

平成三十年四月より着任しました川谷 芽子と申します。

医局の先生方やスタッフのお力添えもあり、ようやく新しい職場での仕事にも慣れてきました。

私は、鳥取県米子市の出身で、大学は、東京女子医科大学を卒業しました。平成二八年に兵庫医科大学病院精神神経科に入局し、一年間勤務しました。異動に伴い仁明会病院で一年間勤務した後、このたび大村病院でお世話になることになりました。

まだまだ勉強していかなくてはならないことがたくさんありますが、困っている患者様の力になりたいという初心を忘れず、自然豊かなこの場所で診療に携われることに感謝しながら、患者様一人一人としっかりと向き合っていきたいと考えております。

様々な職種の方々にご教授いただきながら、精神科医としてより良い医療を実践していけるよう日々努力していきたくと思います。皆様、今後とも宜しくお願いたします。

医師 川谷 芽子



喫茶「j u j u」

喫茶「j u j u」は大村病院にある喫茶店で、現在は就労継続支援B型の作業の場になっています。注文からコーヒーの準備、会計まで登録メンバーさんがほとんどの作業をされています。建物はログハウスで、店内は木目調の落ち着いた雰囲気です。

コーヒーは本格的なドリップで、「美味しい」と大変好評を頂いています。

メニューは他にジュースやトースト、アイスクリームも用意しております。また数に限りはありますが「手作りコーヒーゼリー」も人気があります。

季節イベントとして「お花見会」「ハロウィン」「バレンタインデー」など楽しい催しも企画しています。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

営業時間：月・水・金曜日 午前10時～11時30分 / 午後 1時15分～3時
火・木曜日 午後 1時15分～3時



就労継続支援B型 原田 太郎

大村クッキング

【 ふわふわ天津飯 】

材料 2人前

絹ごし豆腐 1/4丁
たまご 3個
塩 ひとつまみ
油 大さじ1
ごま油 小さじ1
ご飯（あたたかいもの）2人分

天津飯のあん

カニカマ	4本	酒	大さじ1
しいたけ	一個	中華スープの素	大さじ1/2
グリーンピース	数個	濃口醤油	大さじ1/2
片栗粉	大さじ1	酢	小さじ1
水	200ml		

作り方

ふわふわ卵

- ①卵を大きめのボールにときほぐし塩を加える
- ②サイコロ切りの豆腐をゆでる
危ないので水からゆでましょう
かるく沸騰したらザルで水きり
- ③①卵に②豆腐を混ぜ込む
卵に熱が入りドロツとしてOK
- ④大きなフライパンに油+ごま油を熱する
煙が出るまで（注意！めっちゃ熱いです）
- ⑤④に③を一気に流し込みクルクルかき混ぜ
半熟卵になったら
- ⑥蓋をして火を止めて余熱調理で出来上がり
お皿にご飯を盛ってふわふわ卵のをせあんをかけて完成です。

天津飯のあん

- ①片栗粉を水でとく
- ②鍋に水 酒 中華スープの素 濃口醤油 酢をあわせ
しいたけも加えて加熱
- ③沸騰したら火を止め①片栗粉を加え素早く混ぜる
- ④混ぜながら加熱し、透明感が出ればOK
- ⑤最後にカニカマ グリーンピースを加えて出来上がり



大村病院基本理念

私たちは

- 1 医療を行うに当たり「ヒポクラテスの誓い」を、行動の倫理的基盤とし、常に自らの行為が「誓い」の精神にかなうように努めます。
- 2 慈愛に満ちた良質な医療を提供するために、専門職業人としての能力を研鑽するように努めます。
- 3 患者さま個人の尊厳に重きをおき、人権に配慮された親切で丁寧な対応をするように努めます。
- 4 医療を通して地域社会に貢献し、人々の健康維持、増進に寄与するように努めます。

お出かけスポット 浄土寺（小野市）



「浄土寺」は、鎌倉時代のはじめ、重源上人が建立した寺院です。

敷地中央に八幡神社、その前に池をはさんで浄土堂と薬師堂が向かい合うという珍しい配置となっています。

浄土堂と堂内の阿弥陀三尊立像はともに、国宝に指定されており、このように建物と仏像が国宝に指定されているのは、浄土寺をはじめ平等院や東大寺などがあります。

拝観時間 9:00～12:00/13:00～17:00
(10月～3月は16:00まで)

樹光第二十四号担当者一同

昭和初期から栽培された三木の菊をご存知でしょうか。品種改良を進め、水あけに優れた花持ちが良い三木ブランドの菊は、県下有数の露地菊です。患者様が農耕作業で育てた露地野菜も長年作り続けられた経験と技術により他では味わえない旨味のある立派な野菜が今年も豊作を迎えました。

●編集後記



医療法人樹光会 大村病院

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話:0794-82-1132 FAX:0794-83-5739
<http://www.ohmura-hp.net/>

関連病院・施設等

デイケアセンターみちしば

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話:0794-82-1132 Fax:0794-83-5739

グループホーム・就労継続支援B型 こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
電話&Fax:0794-82-2173

グループホーム ひかり

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地223
電話&Fax:0794-86-0775

あぶい 居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション あぶい

訪問介護 あぶい

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
電話&Fax:0794-83-66

小野市障がい者地域生活・相談支援センター

〒675-1380 小野市王子町801
福祉総合支援センター内

電話:0794-63-1000

一般財団法人仁明会 仁明会病院

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町53-20
電話:0798-71-3001 Fax:0798-72-6004

<http://www.jinmeikai-hospital.or.jp/>

医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

〒662-0884 兵庫県西宮市上ヶ原十番町1-85
電話:0798-52-2001 Fax:0798-54-5176

<http://www.uegahara.net>

大村病院広報誌 樹光 (じゅこう)

2018年10月1日 発行 vol.24

発行 医療法人樹光会大村病院

編集・制作 広報委員会

●ご意見・お問合せ

大村病院広報委員会 ohmura@ohmura-hp.net